対応状況報告書

大 学 名： 静岡大学

評価実施年度： 令和3年度

報 告 年 度： 令和4年度

対象となる基準	基準6－4
改善を要する点	○学期 15 週の中で 15 回分の授業（オンライン授業 1 回を含む。）と 期末試験 1 回分を実施する半期 15 週 16 回授業を行っているが、期末 試験後の振り返り等（1 回分の授業）をオンライン授業で行う場合は 半期 15 週の中に収めなくともよいものとしているため、各科目の授 業期間が原則として 15 週にわたるものと同等であるとはいえない。
対応状況	すべての学部・研究科等の授業科目において、試験の前に必ず 15 回分の授業を実施するよう、令和4年3月1日付け文書により部局長 に依頼し、各学部の教授会等で周知徹底を図った。 また、令和2年度に決定した「半期 15 週 16 回授業の実施方針（令 和3年度）」を令和4年5月に改正し、1つの学期（半期）15 週の中 で 15 回の授業の後に期末試験 1 回を実施することを明記し、各部局 に通知するとともに、5月18日開催の教育研究評議会で説明し周知 徹底を図った。 さらに、上記の依頼書や実施方針にしたがって通知内容が徹底され ているかを確認するため、令和4年度に開講する全授業科目のシラバ スを点検し、シラバスの記載が適切な状況になっているか、試験の前 に 15 回分の授業を実施しているかを各部局等の内部質保証委員会及 び全学教育内部質保証委員会において自己点検評価した結果、改正後 の「半期 15 週 16 回授業の実施方針」が徹底されていると判断した。 【根拠資料・データ】 ・令和4年度におけるオンライン授業科目の一覧表の作成等につい て（令和4年3月1日付） ・半期 15 週 16 回授業の実施方針について（令和4年5月12日付） ・令和4年度行事予定表 ・令和4年度シラバスデータ

対応状況報告書

大 学 名： 静岡大学

評価実施年度： 令和3年度

報 告 年 度： 令和5年度

対象となる基準	基準5-3
改善を要する点	○教育学研究科博士後期課程において、実入学者数が入学定員を大幅に超えている。
対応状況	・教育学研究科博士後期課程：1.10倍（令和元年度～令和5年度）と改善されている。 上記の改善を要する点の指摘に対して、実入学者数の比率が入学定員を大幅に超えることのないように厳密に審査することを共同大学院学部内会議で確認し、入試を実施している。その結果、入学定員に対する実入学者数の割合の5年平均が1.10倍となり、改善した。 今後も引き続き、実入学者数が入学定員を大幅に超えることがないように厳正に実施していく。 【根拠資料・データ】 認証評価共通基礎データ_R5.5.1 共同大学院学部内会議議事（令和4年5月12日）